

<ちょこっとコラム④②>

(教会暦 その⑩)

「諸聖徒日」 *All Saints' Day*

11月1日は、すべての聖人と殉教者を記念する日で、大祝日と定められています。多くの教会では、1日以降の主日に諸聖徒日の礼拝を行い、天に召されたすべての信徒やその家族を覚えてお祈りをします。この習慣は4世紀ごろ、アンティオキアで始まったとされています。

アイルランドやケルトの習慣では諸聖徒日の前の晩(10月31日)は「ハロウ・イブ (Hallow Eve)」と呼ばれ、キリスト教伝来以前から、日本のお盆のように亡くなった霊を迎える夜でした。19世紀になって、アメリカに持ち込まれた習慣が「ハロウィン (Halloween)」です。でも、キリスト教信仰とは直接関係ないので、教会としてはこのお祭りをお祝いしません。